

「歯周病治療・インプラント治療における歯科医師と歯科衛生士の役割」
「魅力的な歯科衛生士をめざして」

講師：三上 格、西東 聖子先生

日時：平成25年9月1日(日)

場所：ステーションコンファレンス東京



内野 文彦 (埼玉県)

平成25年9月1日(日)にステーションコンファレンス東京にて三上格先生、西東聖子先生による特別研修会がとり行われました。

年1回の衛生士参加型の講習会であり、「歯周治

療・インプラント治療における歯科医師と歯科衛生士の役割—歯周病専門医からのメッセージ」「魅力的な歯科衛生士をめざして」という題目で歯科医師と衛生士に向けての講演をしていただきました。

日常で誰でも行なう歯周治療ではありますが、三上先生の医院ではシステムティックに予防外来と歯周病外来と分けられており、すべての衛生士がプロ意識をもった集団で構成されている医院だという印象を受けました。

歯科衛生士は治療者であり、患者さんにスイッチを入れられるモチベーターであり、周囲の人を幸せにできる仕事という、三上先生と西東先生の熱い想いが伝わりました。

またLIONの歯科医院専用の歯ブラシであるシステム44を会場に来ている全員に配布して使用方法や、新製品の紹介も行っていただきました。



企業と連携して、幼稚園や小学校などのむし歯予防に努めるなど地域医療貢献もなされており感銘を受けました。

歯科医師と衛生士と患者の三者の関係は過去とは違い変わりつつあります。患者さんにとって身近な歯科衛生士の存在は大事であり、その衛生士の力量次第でどこまで患者さんとの信頼関係が築けるかが、その歯科医院の総合力となります。三者がより良い関係であり続ける事がその医院の未来に繋がるのではないかと感じました。

